

Ⅲ 特別活動 課題改善カリキュラム

主体的な話し合い活動を進めるための指導の在り方～学級活動（１）を通して～

期	学年		事前の指導・活動 問題の発見・議題の決定・計画・意識化	本時の活動（話し合い活動） △司会 ○出し合う ●まとめる	事後の指導・活動 実践・振り返り
Ⅰ 期	小一・二年	わくわくたのしく	◇議題ポストを作り、教師と一緒に、学級生活の中から議題を見付ける。 ◇教師と一緒に話し合い活動の準備をする。 ◇学級活動ノートに自分の考えを記入するなど、話し合いの準備をする。	△教師が進行等の役割を受け持つことから始め、少しずつ児童ができるようにする。 ○約束に従って友達の意見を聞いたり、自分の意見を発表したりして話し合いができるようにする。 ●学級生活を楽しくするための集団決定ができるようにする。	◇学級会コーナーに「話し合って決まったこと」を掲示する。
	小三・四年	にこにこなかよく	◇議題ポストを作り、学級生活や係活動の中から、議題を見付ける。 ◇教師の助言を受けながら計画委員会の進行を分担して行い、話し合い活動の準備をする。 ◇学級活動ノートに提案理由を踏まえて自分の考えを記入するなど話し合いに向けた準備をする。	△教師の適切な指導のもとに計画委員会が活動計画を作成し、進行等の役割を輪番で受け持ち、司会や記録を行うことができるようにする。 ○自分の考えと比べながら友達の意見を聞いたり、理由を明確にして自分の意見を言ったりし、協力し合って話し合いができるようにする。 ●多数決は避け、みんなの意見を生かして集団決定ができるようにする。	◇決まったことを学級全員で役割分担し、協力して準備、実践ができるようにする。
Ⅱ 期	小五・六・中一年	きらきらあかるく	◇議題ポストを作り、学級、学校の生活に関わる問題を見付ける。 ◇計画委員会を開いて、活動計画を作成し、話し合いの準備をする。 ◇学級全体のことを考えて学級活動ノートに提案理由を踏まえた自分の考えを記入するなど、話し合いに向けた準備をする。	△教師の助言を受けながら、児童・生徒自身が話し合いの方法などを工夫して、効率的に計画的に運営できるようにする。 ○学級、学校生活にまで目を向け、建設的な意見を述べながら信頼し合って話し合いができるようにする。 ●多様な意見のよさを生かして、友達の意見と折り合いを付けながら集団決定ができるようにする。	◇帰りの会などで、実践までの係ごとの準備の進捗状況を確認する。
	中二年・三年	いきいきたくましく	◇よりよい学級や学校の生活に関わる問題を見付ける。 ◇行動で取り組む問題を決めて、問題意識を共有化する。 ◇問題を解決するために全員で話し合う「議題」を決める。 ◇話し合いの柱や順番など、話し合い活動の計画を立てる。 ◇話し合うことについて考えたり情報を集めたりして一人一人が問題意識をもつ。（学級活動ノート等の活用）	○提案理由を理解する。 ○改善に向けた意見の交換をする。 ●多様な意見を生かして集団決定する。	◇実践を振り返り、互いのよさに気付いたり、次の活動に生かしたりできるようにする。

話し合い活動におけるつながり

※ゴシック字は、研究授業として実施した議題



